

## 2023年度第3四半期連結決算について

(注1) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。  
「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。

(注2) 当社は、2022年度（2023年3月期）期末の連結決算より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しました。そのため、次頁以降はIFRSに基づき作成しております。

2024年1月31日  
株式会社JERA

## 連結損益計算書

(億円)

	2023/3Q(A)	2022/3Q(B)	増減(A-B)	増減率(%)
売上収益 (売上高)	27,825	33,425	▲5,600	▲16.8
営業損益	4,869	▲923	5,793	-
親会社の所有者に帰属する 四半期損益	3,389	▲1,332	4,721	-
(参考) 期ずれ除き四半期利益	1,216	2,979	▲1,762	▲59.2

## 連結財政状態計算書

(億円)

	2023/3Q(A)	2022年度末(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	88,424	91,723	▲3,298	▲3.6
負債	62,130	71,326	▲9,196	▲12.9
資本	26,294	20,397	5,897	28.9

# 決算のポイント

## 【売上収益】

- 販売電力量の減少などにより、**前期比5,600億円減（16.8%減）の2兆7,825億円**

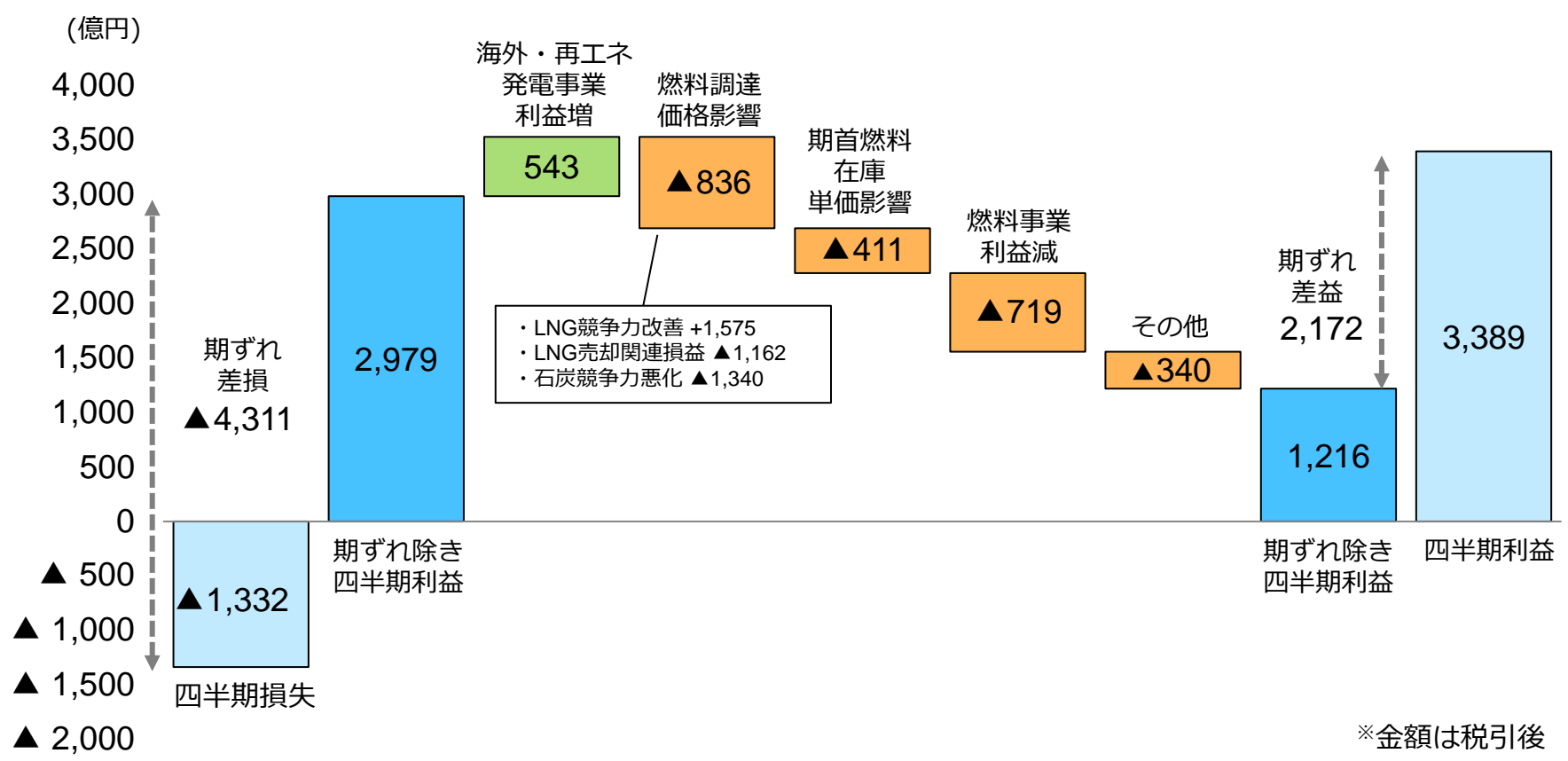
## 【四半期損益】

- 四半期損益は、**前年度▲1,332億円から4,721億円増益の3,389億円**
  - ・ 期ずれ影響が差損から差益に転換（+6,484億円、▲4,311億円→2,172億円）
  - ・ 期ずれ除き四半期利益は減益（▲1,762億円、2,979億円→1,216億円）
- 期ずれ除き四半期利益は、海外・再エネ発電事業における利益増があったものの、燃料調達価格や期首燃料在庫単価の影響、燃料事業利益減等により減益

# 連結四半期損益の変動要因

➤ 期ずれ除き四半期利益は、海外・再エネ発電事業における利益増があったものの、燃料調達価格や期首燃料在庫単価の影響、燃料事業利益減等により減益。

**2022/3Q** 期ずれ除き四半期利益の減少 ▲1,762、期ずれ差損益の改善+6,484 **2023/3Q**



# 連結損益計算書

(億円)

	2023/3Q(A)	2022/3Q(B)	増減(A-B)	主な増減要因
売上収益（売上高）	27,825	33,425	▲5,600	・販売電力量の減少
営業費用	23,459	34,021	▲10,561	・燃料費の減少
その他営業損益	504	▲327	831	・持分法による投資利益 +610 ・為替差損益 +266
営業損益	4,869	▲923	5,793	
金融収益	519	107	412	・受取利息の増加 +327
金融費用	457	513	▲55	・為替差損益 ▲137 ・支払利息の増加 +112
税引前損益	4,931	▲1,329	6,261	・期ずれ差損益 +9,005(▲5,988→3,017) ・期ずれ除き利益の減少 ▲2,744(4,658→1,914)
法人所得税費用	1,042	▲1,101	2,144	
非支配持分に帰属する 四半期利益	499	1,105	▲605	
親会社の所有者に帰属 する四半期損益	3,389	▲1,332	4,721	

	2023/3Q(A)	2022/3Q(B)	増減(A-B)
販売電力量 (億kWh)	1,736	1,914	▲178
原油価格(JCC) (\$/b)	86.6	107.8	▲21.2
為替レート (円/\$)	143.3	136.5	6.8

※2023/3Qの原油価格は速報値

# 連結財政状態計算書

(億円)

	2023/3Q(A)	2022年度末(B)	増減(A-B)	主な増減要因
現金及び現金同等物	14,014	13,609	405	
有形固定資産	28,285	23,878	4,407	• Parkwindの取得等による増加
持分法で会計処理されている投資	13,218	11,127	2,091	• GPIの取得等による増加
その他	32,905	43,108	▲10,202	• デリバティブ債権の減少(JERAGM等) ▲9,037
資産合計	88,424	91,723	▲3,298	
有利子負債	33,437	35,108	▲1,670	• 借入金の減少 ▲1,804 • CPの減少 ▲990 • 社債の増加 +1,123
その他	28,692	36,218	▲7,525	• デリバティブ債務の減少(JERAGM等) ▲9,258
負債合計	62,130	71,326	▲9,196	
親会社の所有者に帰属する持分	26,051	20,228	5,823	• 四半期損益 +3,389 • 為替換算調整勘定 +1,798
非支配持分	243	168	74	
資本合計	26,294	20,397	5,897	

# 連結キャッシュ・フロー

(億円)

		2023/3Q(A)	2022/3Q(B)	増減(A-B)
営業キャッシュ・フロー		10,113	▲3,921	14,034
投資キャッシュ・フロー	有形固定資産の取得	▲1,788	▲2,858	1,070
	投資有価証券の取得	▲595	▲236	▲359
	その他	▲2,253	▲486	▲1,766
		▲4,637	▲3,582	▲1,055
フリー・キャッシュ・フロー		5,475	▲7,503	12,978
財務キャッシュ・フロー	有利子負債の増減額	▲4,676	9,589	▲14,265
	配当金の支払額※	0	▲831	831
	その他	▲1,148	▲856	▲291
		▲5,824	7,901	▲13,726
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）		405	794	▲388

※非支配株主への配当金の支払額を除く



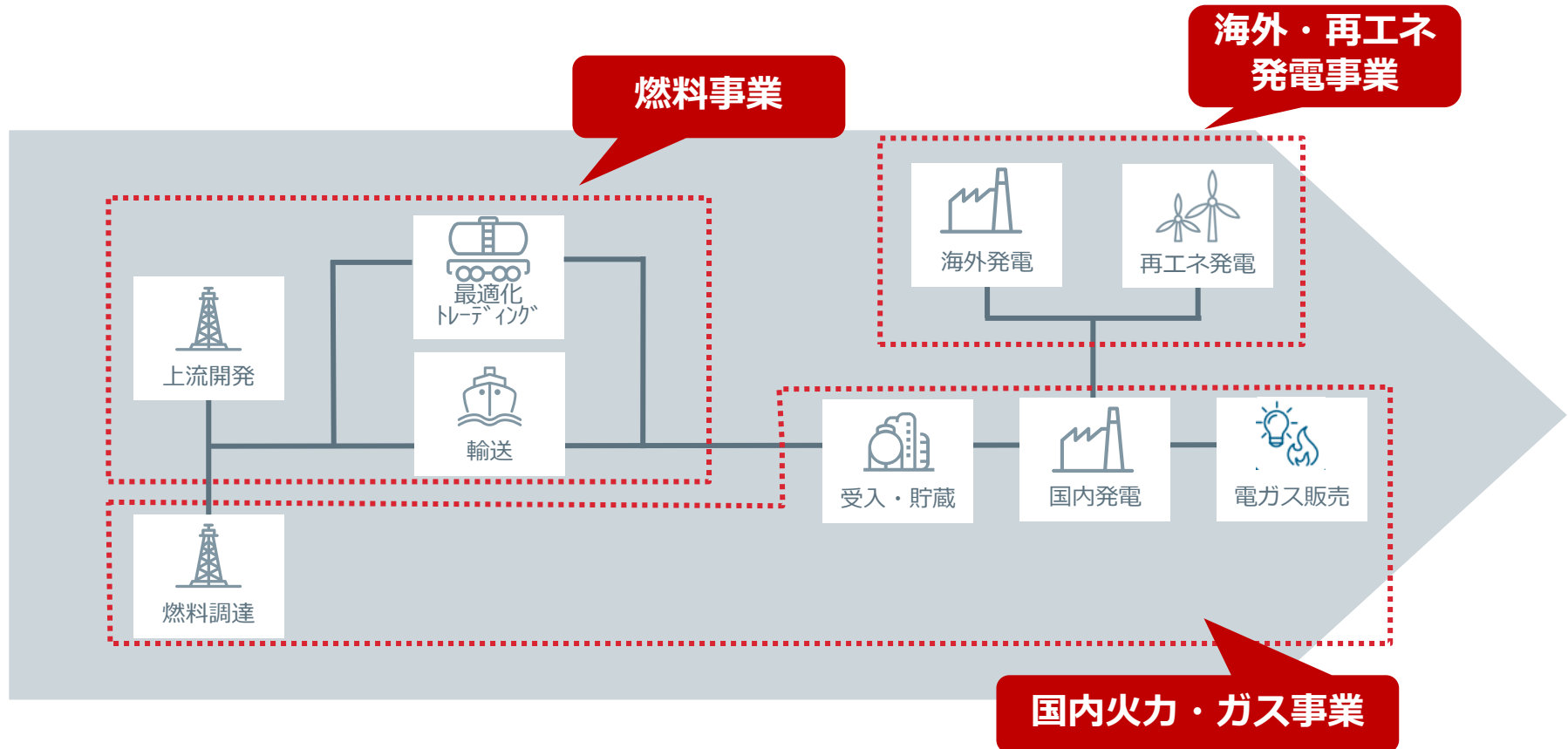
(億円)

	2023/3Q(A)		2022/3Q (B)		増減(A-B)		主な四半期損益 (期ずれ除き) 増減要因
	売上収益	四半期損益 (期ずれ除き)	売上収益	四半期損益 (期ずれ除き)	売上収益	四半期損益 (期ずれ除き)	
燃料事業	3,196	969	5,120	1,689	▲1,924	▲719	・JERAGM利益減等
海外・ 再エネ 発電事業	379	399	33	▲143	345	543	・フォルモサ2減損戻入 +196 ・海外IPP事業の増益等+346
国内火力・ ガス事業	33,182	2,232 (59)	43,942	▲1,874 (2,436)	▲10,760	4,107 (▲2,377)	・LNG競争力改善 +1,575 ・LNG売却関連損益 ▲1,162 ・石炭競争力悪化 ▲1,340 ・期首燃料在庫単価影響 ▲411
調整額※	▲8,932	▲211	▲15,671	▲1,002	6,738	791	・燃料未履行契約消去 +357
連結財務 諸表計上額	27,825	3,389 (1,216)	33,425	▲1,332 (2,979)	▲5,600	4,721 (▲1,762)	

※調整額には、本社費用やセグメント間取引消去等の連結修正額を含む

# (参考) バリューチェーンとセグメント区分

- 燃料上流（ガス田の開発）から、燃料輸送、燃料貯蔵（燃料基地の運営）、発電、卸売まで、燃料・火力のサプライチェーン全体を保有
- セグメントとして、燃料上流事業等への投資、燃料輸送・燃料トレーディング事業を行う「燃料事業」、海外の発電事業や国内外の再生可能エネルギー発電事業等への投資を行う「海外・再エネ発電事業」、国内における電力・ガスの販売などを行う「国内火力・ガス事業」に区分



# 2023年度業績見通し

- 期ずれ除き当期利益は1,500億円程度、期ずれ差益は2,000億円程度、当期利益は合計3,500億円程度を見込んでいる。（前回予想からの変更なし）
- 前提としている燃料市況の変動等により、利益が大きく変動する可能性がある。

(億円)

	今回予想(A)	前回 (2023/2Q) 予想(B)	増減(A-B)	増減率(%)
当期利益	3,500	3,500	-	-
(内訳)期ずれ差損益	2,000	2,000	-	-
期ずれ除き当期利益	1,500	1,500	-	-

【参考：前年度実績との比較】

(億円)

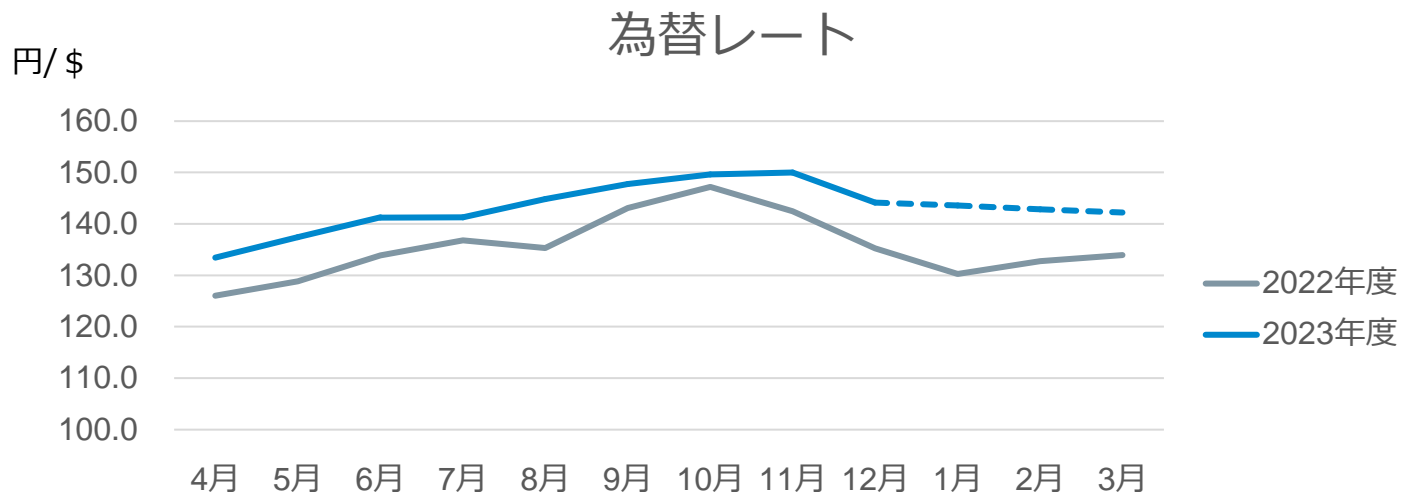
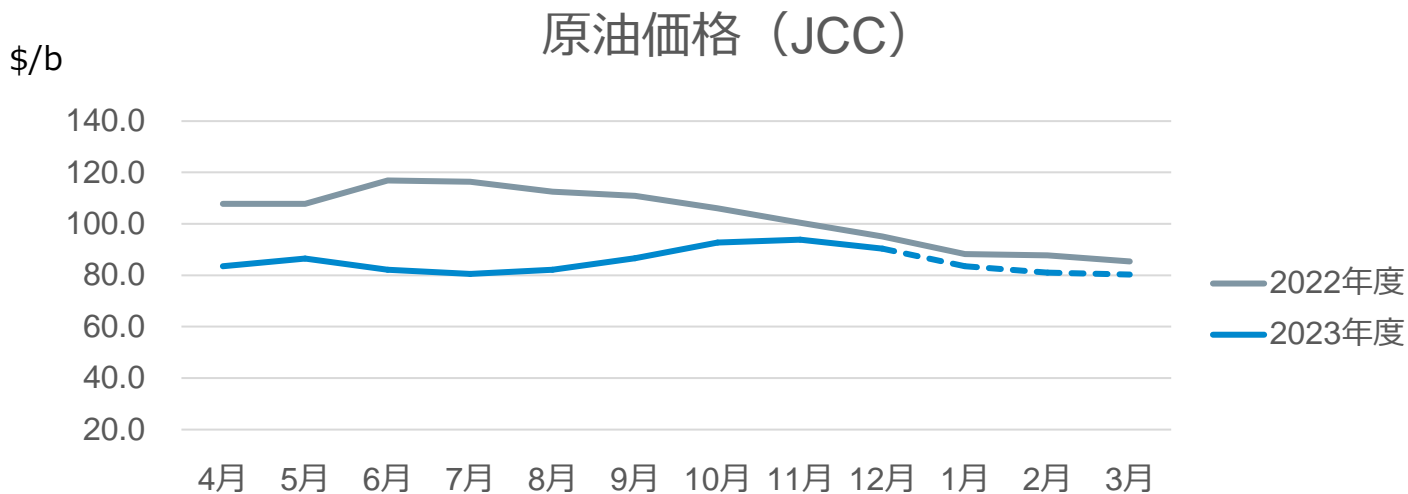
	今回予想(A)	前年度実績(B)	増減(A-B)	増減率(%)
当期利益	3,500	178	3,300程度	1,866.3
(内訳)期ずれ差損益	2,000	▲1,824	3,800程度	-
期ずれ除き当期利益	1,500	2,003	▲500程度	▲25.1

【主要諸元】

	今回予想	(うち1~3月)	前回 (2023/2Q) 予想	【参考】2022年度実績
原油価格(JCC) (\$/b)	85程度	82程度	90程度	102.7
為替レート(円/\$)	143程度	143程度	144程度	135.5

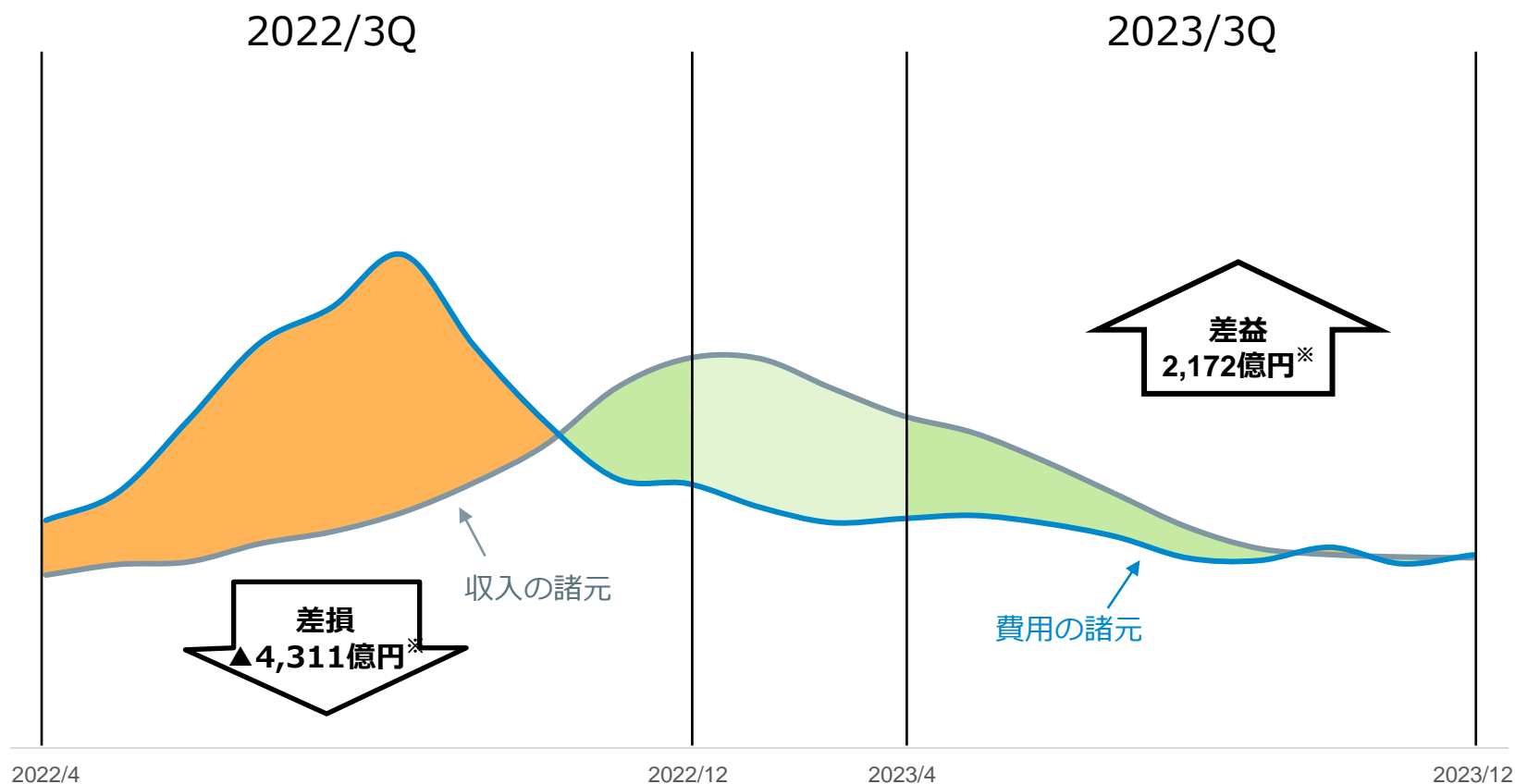
# 参考情報

# 原油価格・為替レート推移



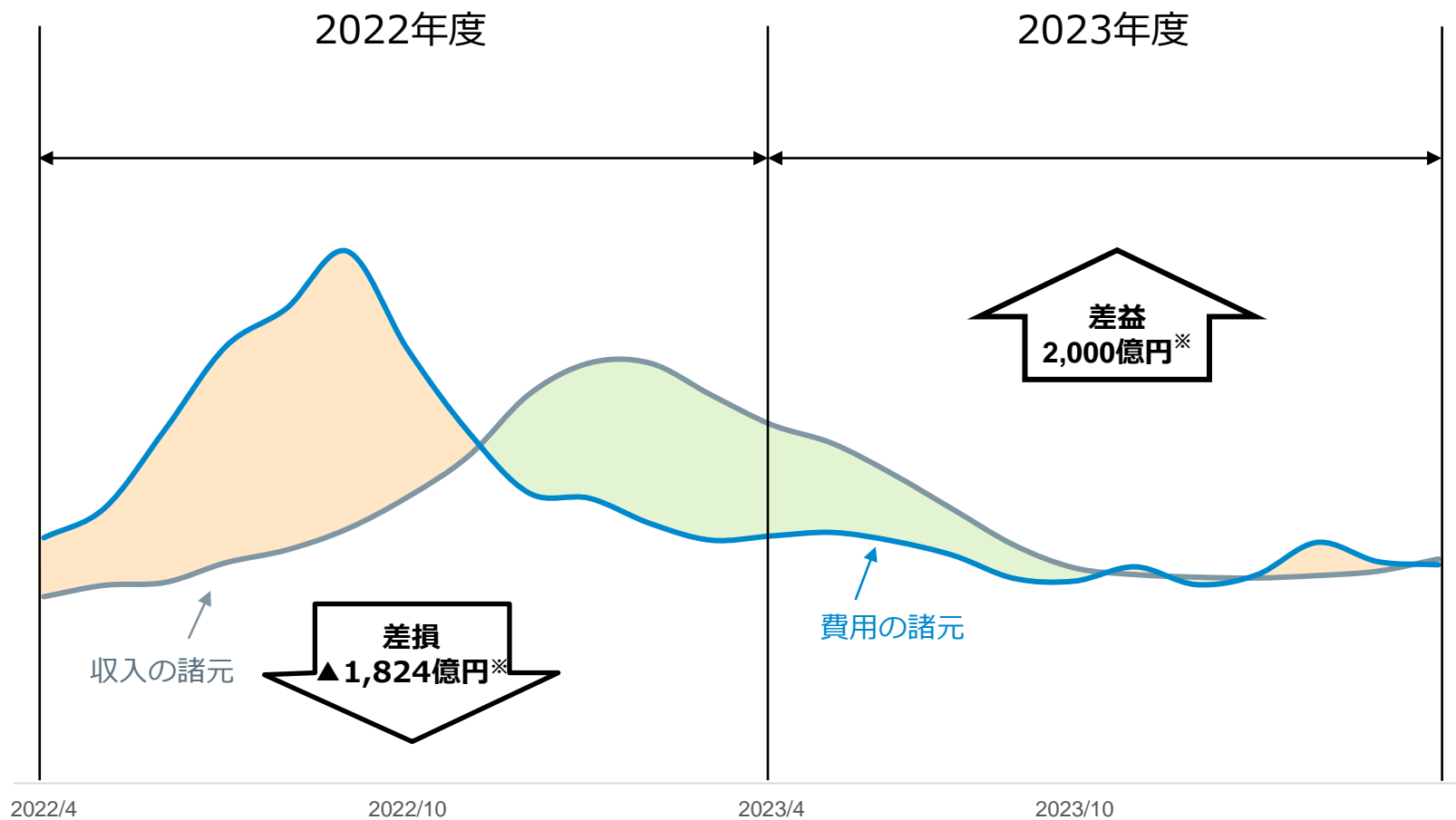
# 期ずれ影響のイメージ (2022/3Q – 2023/3Q)

- 燃料価格変動の影響を販売価格に反映する燃料費調整の仕組みにおいて、燃料価格の変動を販売価格に反映するまでの「タイムラグ」があるため、期間で区切った際には収支影響が生じる。
- 中長期的には収支影響はニュートラルとなる。



※金額は税引後

# 期ずれ影響のイメージ（通期見通し）



※金額は税引後

# 販売電力量・発電電力量の推移

## 【販売電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10月～12月	1～3月	合計
2023年度	481	673	582		1,736
2022年度	579	699	636	637	2,551

## 【発電電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10月～12月	1～3月	合計
2023年度	475	662	550		1,687
LNG	362 (76%)	488 (74%)	417 (76%)		1,267 (75%)
石炭	112 (24%)	172 (26%)	133 (24%)		418 (25%)
重油・原油	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)		2 (0%)
2022年度	528	635	580	608	2,351
LNG	417 (79%)	470 (74%)	439 (76%)	458 (75%)	1,784 (76%)
石炭	112 (21%)	165 (26%)	140 (24%)	150 (25%)	567 (24%)
重油・原油	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)



# 格付取得状況

## 【発行体格付けの推移】

